



うちのイチ押し!

9月8日は「国際識字デー」です

識字・日本語教室のご案内

～学習支援ボランティアとして活動してみませんか?～

識字・日本語教室の学習内容

- ・文字の読み書きや日本語の会話などを学びます。
- ・毎日の暮らしに必要なことや日本の社会や習慣を学びます。
- ・生活の中で困ったこと、わからないことを気軽に聞くことができます。
- ・読み書きや日本語を学習するだけでなく、さまざまな人と交流します。

学習者の声



- ・まだまだ日本語を勉強したいです。
- ・仕事の会話を勉強したい。
- ・日本の日常生活を知りたい。
- ・よみかきができるようになった。
- ・お客さんと話すようになった。
- ・あたらしいことばがふえました。
- ・識字教室に来て、友達ができました。

学習支援ボランティアの募集

現在、各教室では学習者との対話を通じて、日本語や文字の読み書きなど、学習パートナーを募集しています。

資格、指導経験、語学力は問いません。「教えるのではなく、ともに学ぶ」「文化・習慣・宗教などさまざまな違いを理解して相手を尊重する」ことを大切にいただける方を募集しています。皆さんの参加をお待ちしています。教室は基本的に

- 週1回 ●約2時間 ●無報酬(交通費など自己負担)
- 学習者1人～数人と一しよに、ボランティア1人が学習をすすめます。(グループ、参加者全員で学習することもあります)

私たちが住む地域には、さまざまな理由で文字の読み書きに不自由している方や、日本語の会話などで日常生活に不便を感じている人たちがいます。「識字・日本語教室」では、そのような方々と「よみ・かき・ことば」の学習を通じた交流を行っています。

教室の開催について

小学校や生涯学習センターなど、身近なところで開催しています。教室の開催場所、曜日・時間は、インターネットをみてください。



- ▶ホームページ 大阪市 内 しきじにほんごきょうしつ で検索
- ▶ホームページ 大阪市生涯学習センター 内 しきじ・にほんご で検索
- ▶ホームページ 識字・日本語センター 内 教室をさがす で検索

※学習者も随時募集しています。

識字・日本語教室パネル展を開催します!

場 所: 大阪市立中央図書館 1階

エントランスホールギャラリー

実施日: 9月20日(金)～10月2日(水)

えんぴつポスターやパネル、識字・日本語教室の作文集などを展示しています!! ぜひご覧ください!!

お問合せ

教室・学習支援、ボランティア活動、識字・日本語教室パネル展についてのお問合せは、大阪市教育委員会事務局生涯学習担当 電話 06-6539-3348 まで



おおさか

歴史探訪

193

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

古墳時代の国際エリート官僚 日羅公の碑

大阪市北区の源八橋西側大川河畔に、6世紀に朝鮮半島にあった百済という国で高官として活躍した日羅を偲ぶ碑があります。

日羅は火葦北(現在の熊本県葦北郡)の国造の子であり、百済王に仕え高い官位にありましたが、朝鮮半島南部の復興を求める敏達天皇の要請を受け、583年来朝しました。意見を求められた彼は、内政を充実し国力を増強させ、多くの船をつくり軍勢力を誇示すれば隣接国を自ずと牽制できるだろうなど、当時の国際情勢を踏まえた外交・内政への提言を行いました。こうした発言の中には百済の内情に通じるものもあったよう

で、随行していた百済の使者らによって祖国にとって不利になると判断され、難波館にて殺害されました。天皇は日羅の死を悼んで難波の小郡西畔丘前に葬り、その後父ゆかりの葦北へ改葬されたと伝えられています。

この日羅初葬の地について、江戸時代享保20(1735)年刊行の『攝津志』には「大坂天満同心町に在り」と記されています。大正7(1918)年ころまでは日羅塚として源八橋西詰の西の辻の民家の中に小高い土盛りもあったようです。昭和13(1938)年には地主の吉房末吉氏による社会貢献事業として、同心1丁目(現在の北区同心2丁目)に石碑が建立されました。同地は昭和16(1941)年には大阪府顕彰史跡に指定されます。石碑は戦災を受けましたが、昭和30(1955)年6月に修復、中井市長による解説碑文が添えられました。その後、昭和58(1983)年11月に現在の地に移されました。

日羅は幼少時の聖徳太子の異才を見抜き、太子の師であった高僧としての伝承もあります。九州には日羅建立の寺伝を持つ寺院が多くあります。(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



日羅公の碑(大阪市北区天満橋2-2-33)